



あ に

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課

印刷所 秋田県阿仁町水無安東印刷所

160 号

75

12 月

頒 価 10 円

雪の中を急ピッチ

統合小学校第一期工事

本格的な冬を前に、上岱グラウンドに建築中の統合小学校第一期工事が、いま急ピッチで進められています。

統合小学校の計画では、阿仁合、伏影、三枚の三枚を統合して、昭和53年4月から実質統合をスタートさせるという構想のもとに、本年度から3年計画で校舎を建築することになっています。

初年度の第一期工事では、普通教室棟（11教室、鉄筋コンクリート2階建、1千344平方メートル）が、1億2千390万円の工費で進められており、9月に始まった工事は、現在、コンクリートの打込みを殆んど終え、約50%の完成率となっています。

今後は、電気や暖房、衛生、内外装の工事に移り、予定どおり5月末には完成の見込みです。

一期工事の完成に伴ない、ひきつづき51年には管理および特別教室棟、52年には体育館を建設する計画で、総工費3億4千万円が投じられる予定です。

新しい「ボクたちの学校」での勉強を楽しみにしている子どもたちにとつても、一日も早い完成が待たれるところです。



人口あれこれ

十月一日に実施した国勢調査によりみると、わが国の人口は一億一千百九十三万三千八百十八人という結果が出ました。

五年前の調査に比べて七百二十万人、六・九%ふえ増加率は戦後二番目で、一億一千万人を超えた総人口は世界第六位となっています。

また、世帯数は三千二百十四万三千七百四十八世帯で前回より一四・四%と増加率も著しく、一世帯当りの平均人員は三・四八人で核家族、単独世帯が増え、細分化が進んでいることを示しています。

人口を男女別に見ますと男五千五百八万八千七百五十二人、女五千六百八十四万五千六十六人で、女が百七十五万六千三百十四人多くなっています。

町の人口

七、二五五人

(九人減)

男 三、四七九人

女 三、七七六人

世帯 一、八〇二

(二世帯減)

出生 二人

死亡 一〇人

転入 一七人

転出 一八人

昭和50年11月30日現在
住民基本台帳による

建設事業に3億2千2百万円

49年度決算報告

町の家計簿です

市町村の財政危機がクローズアップされていますが町の家計簿はどうなっていますか。昭和四十九年度の町の一般会計および各特別会計の決算が、十二月定例町議会承認されました。そのあらましをこの報告いたします。(定例町議会の他のくわしい内容は、広報一月号でお知らせの予定です)

一般会計

一般会計は、収入が十億八千四百四十三万五千円に、支出が十一億四百六十二万七千円、差し引き二千七百四十四万円の赤字(赤字)となりました。これは、当初予定していた阿仁合財産区からの繰入金、予定どおり立木処分ができなかったため、その分の二千八百一十一万一千円が

収入とならなかったために生じたものです。この額については、五十一年の歳入から支出して処理されています。

収入：最も多いのが地方交付税で全体の四三%を占め、四億六千四百二十万、以下、町債(借入)が一億三千七百四十万(一三%)、国庫支出金八千八百三十万円などが主たる財源となっています。

支出：昨年より四千五百七十五万多く(四・三%)、総額十一億四百六十二万七千円のうち、建設事業が災害復旧とあわせ三億二千二百五十五万円で全体の三〇%を占めています。これは、母子寮および第一中プール、阿仁合保育所の建設や、町道の改良舗装などの事業が施行されたことによるものです。

人件費は三億一千五百六十六万円で予算で占める割合は二九%で、起債(町の借入金)に対する元利償還

金(公債費)は八千四百十六万(七・六%)となっています。このように、財政事情のきびしい折でもあり、町では事業投資を優先にとり上げ、一般経費の節減に鋭意取り組んでいるところであります。

決算から見た主なる建設事業

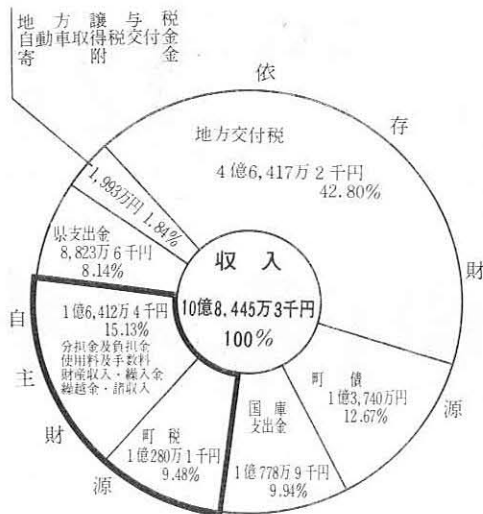
特別会計決算

単位千円

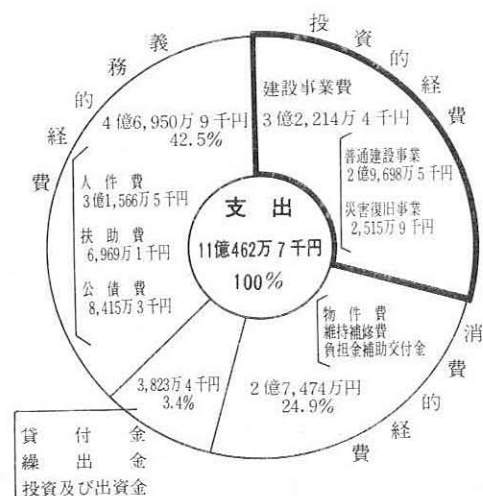
- ▽母子寮建設 六千二百八十七万三千円
- ▽阿仁第一中建設 一千四百三十八万八千円
- ▽農業用施設災害復旧 二千二百七十八万九千円
- ▽荒瀬川線舗装及側溝改良 二千七百七十九万七千円
- ▽第一中プール建設 一千八百一十六万六千円
- ▽簡易水道事業 一千五百三十六万三千円
- ▽小淵、喜鶴緑地巾舗装 一千二百六十七万七千円
- ▽向山線開設 一千八百三十三万三千円
- ▽阿仁合保育所建設 一千三百三十八万五千円
- ▽萱草、幸屋線舗装

会計名	収入	支出	剰余金
農業共済会計	13,553	11,456	2,097
国保会計	125,452	123,717	1,735
中村診療所会計	2,229	2,219	10
阿仁合財産区会計	26,602	26,564	38
大阿仁財産区会計	957	607	350
簡易水道会計	2,990	2,872	118
計	171,783	167,435	4,348

収入内訳



性質別支出内訳



町立病院に内科医師

週一回水曜日 秋大の西村先生

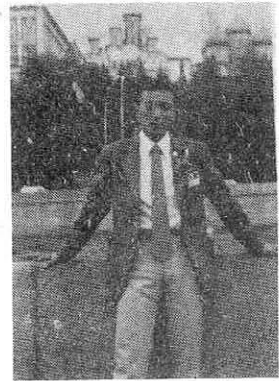
寒さをむかえてカゼなどが発生しています。町立病院では、十二月から毎週一回水曜日に秋田大学第一内科医師の西村秀夫先生(四〇歳)を招いて診療をはじめました。ご病気の方や健康相談にご来院くださるようお待ちしております。

- ▽九百九十五万四千円
- ▽小沢、二ノ又線拡布 九百七十三万一千円
- ▽十二ノ沢、小横林道舗装 七百一十萬一千円
- ▽十二ノ沢支線開設 六百二十万円
- ▽上傍線開設 五百六十一万一千円

第19回全県中学スキー大会

期 日	1月12日(月)～14日(水)
場 所	阿仁スキー場 (距離競技は吉田苗圃が会場)
(競技種目、日程)	
1月12日	町内パレード 阿小～第一中グラウンド 後1時半 開会式(第一中グラウンド)後2時半
13日	男子距離10K (兼複合距離) 前10時 女子距離5K 後1時 男子回転 前10時 女子回転 前11時
14日	複合ジャンプ、純ジャンプ 9時 女子リレー(3K m×3人) 10時 男子リレー(5K m×4人) 11時 女子大回転 9時 男子回転 10時半 閉会式 町立体育館 後2時

世界の大国ソビエト

柳谷秀一(22 小淵)
古河林業勤務

去る八月十日から二十三日迄世界陸地の六分の一という広大な面積を持つ国、世界史上初めてプロレタリア革命を成し遂げた国、アメリカと世界を二分する超大国ソビエトに小畑団長以下二百六十余名の仲間とともにモスクワ、レニングラード、キエフ、ハバロフスク、ナホトカの各地を視察して参りました。

飛行機で落日を追いながらの三十二時間の一日、列車の窓に飛び込んでくるのは平原ばかりという特異なことを体験させられ、その広大さを見せつけられました。広大なるがゆえに侵略されつづけた過去の苦い経験がスラブ魂となつてあらゆる面で生かされ、幼稚園、初等、中等学校、大学と、教育は程度こそあれ、国家に協調精神と尊敬の念を持たせることを基本としておりソビエトは大変質素な国で

ありました。モスクワの夜の町を歩いても、ネオンも日本のようなきらびやかさもなく、店先にも基本的な生活必需品が多く並べられ人々の足もつばら路面電車と、地下鉄といった具合で、レニングラードで家庭訪問をしました。夫婦と子供三人の三人が、二DKのアパートに住んでいました。子どもを託児所へ預けての共稼ぎで、生活費は百七〇ルーブル(六万八千円)ぐらいしかかるとのことでした。国家が組織的に建設した大きなアパートには、一般住宅の入居経験年数によつて順番にしか入ることができないということを知らされ改めて日本人としての幸福感を感じました。

各地を視察して学ぶべき点が多かつたのも事実です。ソビエト農業の代表とも言えるソフホーズにその一面を窺うことができた。規模もさることながら、住宅、学校など集団生活をすすめるうえでの環境整備が、完全になされていることに驚きました。生産物は、無償契約で同家に直送販売していてコストも安価でした。

ただ体制の相違から予想されたこととは言い、生産物に対する個人の工夫、収穫の喜びといったものが感じられず質より量という感じがしました。宇宙館中心に見学した国民経済博覧会は、社会主義国家の発展を象徴してありました。

また図書館、劇場、キャンプ場といった公共施設も大変充実しており、それらは無料若しくは安い料金で利用されておりました。ソビエトの聖地クレムリンは、荘厳で、レーニン廟の前は、詣でる人々で引きも切らず、印象的だったのは一秒の狂いもなく、一時間ごとに交替する儀衛兵の姿でした。

北方領土問題、ソビエト漁船の日本海操業等さまざまな問題が、両国間には横たわっており、現実には現実として受け止め、より高いメリットが生まれるよう協力しあわなければならぬと感じて帰って参りました。

訪ソに際しまして、町長さん初め多くの方々に御協力いただきましたことを感謝致しますとともに、阿仁町からも多くの方々が参加されますことを切望致します。

最後に小畑団長がナホトカの日本人墓地で読まれた詩を今一度かみしめながらその意義を考えたいと思ひます。

ク来るたびに涙あたらなりナホトカの丘に眠れる腹から思えば

六、ブルの歩いた跡で、各家庭の玄関がふさがれたります。この除雪はブルでは不可能で困っています。各家庭で除雪されるよう協力願います。

◎食品衛生で販売店を巡回指導

ほしい消費者の関心

秋田県食品衛生協会では年末をひかえ、町内の料理店や飲食店、魚および食肉店、菓子・豆腐製造など、食料品を扱う店を対象に、年末における食品衛生取扱販売巡回指導を実施しまし

た。

これは、食料取扱販売元の衛生管理を徹底し、不衛生の中毒および感染事故を防止するために行なつたもので、当日は、鷹巣保健所から三人の衛生監視員と、当町から四人の民間人による衛生指導員が立ち合つています。

その結果、不衛生な点や食品の保管(温度や容器)などの指導をうけています。が、こうした問題は、毎日の食生活につながる大切なことでもあり、みんなが監視しあつていく必要があります。

町には、現在六人の民間人の衛生指導員がその一役をになつていますが、町としても、こうした方を中心と、さらに衛生思想の普及と管理の徹底をはかつていくことにしています。

衛生指導員は、許可を必要とする食品製造加工、調理、販売業者の中から、所定の知識を修得した方を、県知事が委嘱するもので、取扱店の指導や、消費者の相談に応ずるなどを役目としています。

当町の指導員は次の六人の方となっています。どしどし相談ご要望ください

▽阿仁合地区

伊藤 国夫(菓子商)

小林 照夫(バー経営)

加賀 昭蔵(寿し店)

▽大阿仁地区

松橋 茂治(旅館業)

田中 昭三(食堂)

鈴木 憲庸(商店)

ブル七台をフル運転

道路除雪にご協力を

いよいよ冬將軍の到来です、雪とともに毎年悩まされるのが道路の除雪です。さて、ここの町の除雪対策は、除雪する道路の路線が四十七、延長四十六キロに對し、町有三台、借上げ四台の合計七台の除雪機械をフル運転し、道路確保に万全を期しています。

除雪区間は昨年同様で、担当は吉田、根子、国道、小郷、国道となつており、町部主要道路は早朝除雪を

実施の計画です。

こうした除雪に對し、町民のみなさんに次のことをご協力願います。

一、早期の除雪作業で一番困るのが路上駐車です。

二、道路上、又は道路の附近に物を置かないよう。

三、道路を横断している水道管などは今一度点検を。

四、自宅の前の側溝などは各自が掃除してご協力を。

五、屋根から降ろした雪は道路上に置かないこと。

加賀谷ギン (81) 荒瀬
加賀谷大吉 (62) 小沢